

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
越前市	新保、新保1丁目、小松2丁目	令和2年2月	平成27年12月

集落座談会: 令和2年2月1日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	15.6 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	12.3 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	1.4 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.7 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.6 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.0 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・新保地区内における中心的経営体(担い手)の不足 ・個人農家における高齢化の進行と後継者不足

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

新保地区内で集落営農組織を設立し、地区内から、役割を果たす農業者の参加者を募る。
地区外の経営体を受け入れ、農地の耕作業務を委託する。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向			備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	
認農	法人A	水稻	5.7 ha	水稻	5.7 ha		
認就	法人B	水稻	0.0 ha	水稻	0.0 ha		
計	2人		5.7 ha		5.7 ha		

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

地域内で中心的役割を果たす組織、または個人農家を確立する。
地域外の経営体を積極的に受け入れる。
将来的なプランを集落として継続して考える。